



浅草ビューホテルでは客室やレストランから東京スカイツリー®がご覧いただけます。

がんばろう!日本。

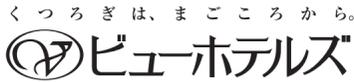
被災地域の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

くつろぐ人の、いるところ

一日のスケジュールを終え、ホッと息を抜くひととき。ひとりひとりのくつろぎの時間がはじまります。

私たちが、お客様ににおどけたいのは、そんなゆとりのある時間。

ビューホテルはいつも、お客様にゆったりとおくつろぎいただくための心くばりを忘れません。



http://www.viewhotels.co.jp



浅草ビューホテル(東京都台東区)

ビューホテルズは、ただいま16ホテル。

ビューホテルズは、国際規模のシティホテルからリゾートホテルまで、国内に16のチェーンホテルを繰り広げています。各地の魅力を活かしたホテルで、ごゆっくりおくつろぎください。



秋田ビューホテル(秋田秋田市) 郡山ビューホテル(福島郡山) 郡山ビューホテルアックス(福島郡山) 福島ビューホテル(福島福島) 平ビューホテル(福島いわき) 高崎ビューホテル(群馬高崎) 那須高原ホテルビューリス(栃木那須) グリーンパル那須(栃木那須) 成田ビューホテル(千葉成田) ホテルプラザ菜の花(千葉千葉) ぎょうけい館(千葉千葉) 伊良湖ビューホテル(愛知伊良湖) 岡山ビューホテル(岡山岡山) ホテルグランビュー沖縄(沖縄那覇) ホテルグランビューカーテン沖縄(沖縄那覇)

JTB旅ホ連 6支部連合会が総会

北海道 道と8旅連で旅行促進策

【5月23日、札幌市】 都圏から離隔的な長期間冒頭、大震災の被災者をお見舞いし、北海道クルーズに誘客促進事業苦難に屈せず果敢にこの一本の夏休み、北海道難局に立ち向かっていくことを確認した。北海道は自粛ムードも一段落し、攻めに転じた効果も表れ、お客さまの動きも目覚めつつある。5月には台湾立法院の王議長一行が特別ツアーで来道用を出し道民道内旅行促進キャンペーン「お出かけラビ北海道」と、首脳からの航空路線が一部復活。中国からのインバウンドも過日の日中韓3カ国首脳会議を契機に徐々に回復してきているという報告もなされた。

大西雅之会長 (北海道支部連合会幹事・萬和雄)

東北 観光復活のスタートに

【5月11日、上山温泉】 規模を縮小したため、連合会役員、支部役員と来賓も含め総勢100人での開催。震災直後でもあり、華美なものには極力排除し、粛々と進行することを心がけた。

冒頭、久保田浩基会長が「東北観光の復活のスタートになるよう、夢と希望に託す総会にしたい。このような時期だからこそ、明確に進めていきたい」とあいさつ。

久保田会長 (東北支部連合会事務局長・山廣)

関東 小林新会長を選出

【5月17日、神戶】 大震災の影響を受けた今年度、JTBとより連携し、地域経済発展、観光産業の成長に貢献できるよう努めたい」とあいさつした。

日比野健一(西日本)社長は「東日本大震災の風評被害は全国的に広がっているが、旅行需要はこれまで多く、風評被害を乗り越え回復の動きが、東北観光の復興に加え、インバウンドの回復も重要。インバウンドの回復に向け、各地域、各旅館・ホテルは、根の根の情報を協力してほしい」と要望。さらに「今後、再生した格安旅館が脅威になると話した。

役員改選では、中田力会長を再任。副会長に小田修、永山久徳の2氏が選ばれた。佐藤良治副会長は相談役に就任した。

中田会長は、「東日本大震災の影響を受けた今年度、JTBとより連携し、地域経済発展、観光産業の成長に貢献できるよう努めたい」とあいさつした。

役員改選では、中田力会長を再任。副会長に小田修、永山久徳の2氏が選ばれた。佐藤良治副会長は相談役に就任した。

中田会長は、「東日本大震災の影響を受けた今年度、JTBとより連携し、地域経済発展、観光産業の成長に貢献できるよう努めたい」とあいさつした。

中部 退任役員に拍手止まず

【5月12日、熱海】 大震災以降の厳しい環境下、「こんな時だからこそ皆で集まる」という渡邊幸一会長の話も盛んに執り行われた。

渡邊幸一(小松)副会長は「JTB中部社長が、小松旅行に引率で、大震災の復興に貢献したい」と、自粛ムードから脱却するための強いメッセージを出した。

役員改選では、新たに副会長に今井重也氏、小田孝信氏が就任した。連合会に尽力した森行成副会長、谷口守副会長、池田泰治理事、片桐幸吉理事、大石正徳理事の退任役員表彰があり、感謝状を贈呈。退任のあいさつでは、拍手が鳴り止まない。会員の気持ちが大震災という強い向かい風を受けながらのスタートとなったが、JTBの経済団体として従来以上に旅行事業会社と三位一体の連携を強固にし、宿泊販売目標を達成すべく組織をまとめることを確認し、会を閉じた。

(中部支部連合会事務局長・吉田修)

西日本 今こそ連携を深めよう

【5月17日、神戸】 大震災の影響を受けた今年度、JTBとより連携し、地域経済発展、観光産業の成長に貢献できるよう努めたい」とあいさつした。

日比野健一(西日本)社長は「東日本大震災の風評被害は全国的に広がっているが、旅行需要はこれまで多く、風評被害を乗り越え回復の動きが、東北観光の復興に加え、インバウンドの回復も重要。インバウンドの回復に向け、各地域、各旅館・ホテルは、根の根の情報を協力してほしい」と要望。さらに「今後、再生した格安旅館が脅威になると話した。

役員改選では、中田力会長を再任。副会長に小田修、永山久徳の2氏が選ばれた。佐藤良治副会長は相談役に就任した。

中田会長は、「東日本大震災の影響を受けた今年度、JTBとより連携し、地域経済発展、観光産業の成長に貢献できるよう努めたい」とあいさつした。

九州 九州観光推進協と連携

【5月18日、福岡】 11年度事業で、JTBグループをはじめ、JTB九州観光ネットワーク推進協議会、九州観光推進協議会、九州観光推進協議会と連携を強め、九州一体となった観光客誘致活動を強化することを決めた。役員改選では、西田会長を再任した。

西田会長は、「ゴールデンウィーク以降、自粛ムードも緩み、インバウンドもちらほらと見られ、九州一丸となって、観光で日本を元気にしたい。今年度も九州域内の宿泊券増発をスローガンに進めていく」とあいさつした。宮原敬介JTB九州社長は「11年の九州域内の宿泊販売の目標は309億。5月6日から9月までは、宮崎で九州物産展を行う。下期からは日本の旬九州の成功を目指す」と話した。同日は、同会場でJTB九州観光ネットワーク推進協議会も通常総会を開き、11年度の活動を決定した。九州観光推進協議会や地域の行政、観光協会などとの連携を強化し、地域の課題解決を行うプラットフォーム組織を担うことなどを決めた。

JTB旅ホ連特集

台湾でも、加賀屋の流儀。



一期一會的謙誠
台湾で三百数十名の中から選抜された、七十有余名の客室係がお待ちいたしております。おもてなし加賀屋流儀。

お問い合わせは
JTBグループ各店、又は
和倉温泉・加賀屋予約センター
(0767-624111)まで

